

建設候補地について

第4回検討委員会

- 建設候補地提案の経緯説明
- 建設候補地事務局案の提案
- 検討委員会での意見集約

第5回検討委員会

- 中間答申(案)の提案
- 検討委員会で中間答申を決定



中間答申

答申を基に組合管理者が決定



建設候補地の決定

ごみ処理施設は市民生活の根幹を成す最重要の施設であり、ごみ処理を安定的・確実に継続していく必要があることから、現在稼働する各センターの長寿命化期間終了後、速やかに新施設を稼働することを共通認識として、行政（大里広域市町村圏組合、熊谷市、深谷市、寄居町）で平成29年度から新施設について勉強会・担当課長会議を開催し、意見を集約してきた。



意見集約された建設候補地

熊谷市	別府（現熊谷衛生センター敷地他）
深谷市	榎合（現深谷清掃センター隣接地）

構成市町清掃担当課長会議における最終的な結果として、熊谷市別府（現熊谷衛生センター敷地他）、深谷市榎合（現深谷清掃センター隣接地）に意見集約された。



第2回検討委員会において、施設数については「2施設体制」が優位であるものと承認されたことから、行政として意見集約された別府・榎合を建設候補地の事務局案として検討委員会に提案したい。



建設候補地の検証（基本方針）

No.	基本方針（コンセプト）	内容
1	安全・安心かつ安定的に処理が可能な施設	安全性・信頼性の高いシステムを選定し、安心かつ安定した処理ができる施設にするとともに、災害発生時にも安定した処理ができる強靭性を備えた施設とします。
2	環境に配慮した施設	周辺環境への負荷の更なる低減に努める施設とします。
3	効率的なエネルギー回収をする施設	ごみの処理で発生したエネルギーを効率的に回収して有効利用できる施設とします。
4	経済性に優れた施設	将来の設備機器の延命化も視野に入れ、発注方式や管理・運営方法を工夫することにより、可能な限り建設費を含めライフサイクルコストの縮減に努める施設とします。
5	地域に貢献し、親しまれる施設	施設見学や環境学習等を通じ、住民が気軽に来場できる地域に開かれた施設にするとともに、災害発生時などにも地域に貢献できる施設とします。

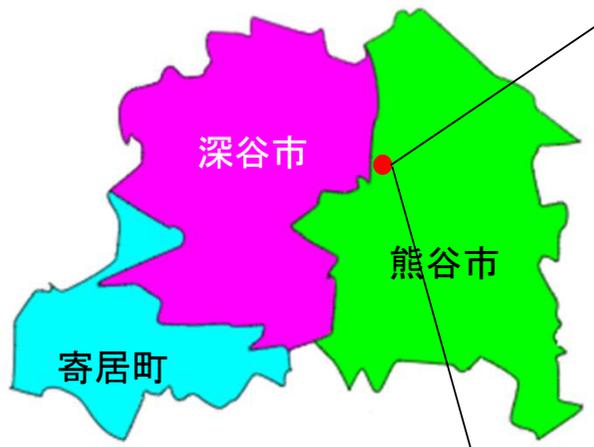
施設整備の基本方針（コンセプト）に照らし合わせ、別府（現熊谷衛生センター敷地他）、榎合（現深谷清掃センター隣接地）それぞれを検証。

No.	基本方針（コンセプト）	検証項目
1	安全・安心かつ安定的に処理が可能な施設	土地利用 防災 将来計画
2	環境に配慮した施設	自然環境
3	効率的なエネルギー回収をする施設	関連施設
4	経済性に優れた施設	経済性
5	地域に貢献し、親しまれる施設	自然環境 関連施設

条件の性質	検証項目	検証項目の内容
根本的な条件	土地利用	都市計画、現況の土地利用
	防災	液状化想定、想定震度、浸水想定
	自然環境	保全地区
発展的な条件	将来計画	将来計画、地域活性化への貢献
	関連施設	余熱利用施設の有無
	経済性	インフラ整備費、幹線道路との近接性（市町からのアクセスのしやすさ）

検証項目を根本的な条件（満たさなければ建てられない条件）、発展的な条件（より多く満たすことが望ましい条件）に分けて、別府（現熊谷衛生センター敷地他）、榎合（現深谷清掃センター隣接地）それぞれを検証。

建設候補地の検証（別府）



赤枠が都市計画上の「都市施設」と位置付けられている範囲（約3.4ha）

根本的な条件

検証項目	検証項目の内容	別府（現熊谷衛生センター敷地他）の状況
土地利用	都市計画、 現況の土地利用	<ul style="list-style-type: none">• ごみ焼却場として都市計画決定されている。• 現況は熊谷衛生センター敷地及び別府農村広場として利用している。

検証結果

検証項目の内容について、根本的な条件を満たす。

検証項目	検証項目の内容	別府（現熊谷衛生センター敷地他）の状況
防災	液状化想定、 想定震度、 浸水想定	<ul style="list-style-type: none"> 熊谷市防災ハザードマップにおいて、液状化危険度で5段階中2番目に危険度が低いと評価される区域である。（液状化の可能性が低い区域） 関東平野北西縁断層帯地震の際、揺れやすさで8段階中2番目に揺れにくいと評価される区域である。 熊谷市防災ハザードマップ浸水想定の根拠となる国土交通省地点別浸水シミュレーションで、約1.0m～1.5mの浸水が想定される区域である。

検証結果	<p>検証項目の内容について、液状化危険度に応じた対策及び国土交通省地点別浸水シミュレーション結果を想定した対策を講じることにより、根本的な条件を満たす。</p>
------	---

検証項目	検証項目の内容	別府（現熊谷衛生センター敷地他）の状況
自然環境	保全地区	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県自然環境保全条例に基づく県自然環境保全地域に指定されていない。

検証結果	検証項目の内容について、根本的な条件を満たす。
------	-------------------------

発展的な条件

検証項目	検証項目の内容	別府（現熊谷衛生センター敷地他）の状況
将来計画	将来計画、 地域活性化への貢献	<ul style="list-style-type: none">別府（小学校区）において（仮称）アクアピア2（水浴施設）の新規整備計画があり、温熱供給などによる相乗的な地域活性化への貢献が期待できる。

検証結果

検証項目の内容について、発展的な条件を満たすことが期待できる。

検証項目	検証項目の内容	別府（現熊谷衛生センター敷地他）の状況
関連施設	余熱利用施設の有無	<ul style="list-style-type: none"> 別府（小学校区）において（仮称）アクアピア2（水浴施設）の新規整備計画があり、温熱供給などによる相乗的な地域活性化への貢献が期待できる。

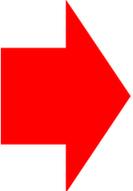
検証結果	検証項目の内容について、発展的な条件を満たすことが期待できる。
------	---------------------------------

検証項目	検証項目の内容	別府（現熊谷衛生センター敷地他）の状況
経済性	インフラ整備費、幹線道路との近接性（アクセスのしやすさ）	<ul style="list-style-type: none"> • 現に熊谷衛生センターが稼働していることから、インフラ（給水、排水、ガス、通信など）が整っている。 • 4車線（片側2車線）道路である熊谷バイパス（国道17号深谷バイパス）に近接しており、幹線道路との近接性が高いため、搬入車両のアクセスがしやすく、収集運搬費などの経済性は高いと考える。

検証結果 検証項目の内容について、発展的な条件を満たすことが期待できる。

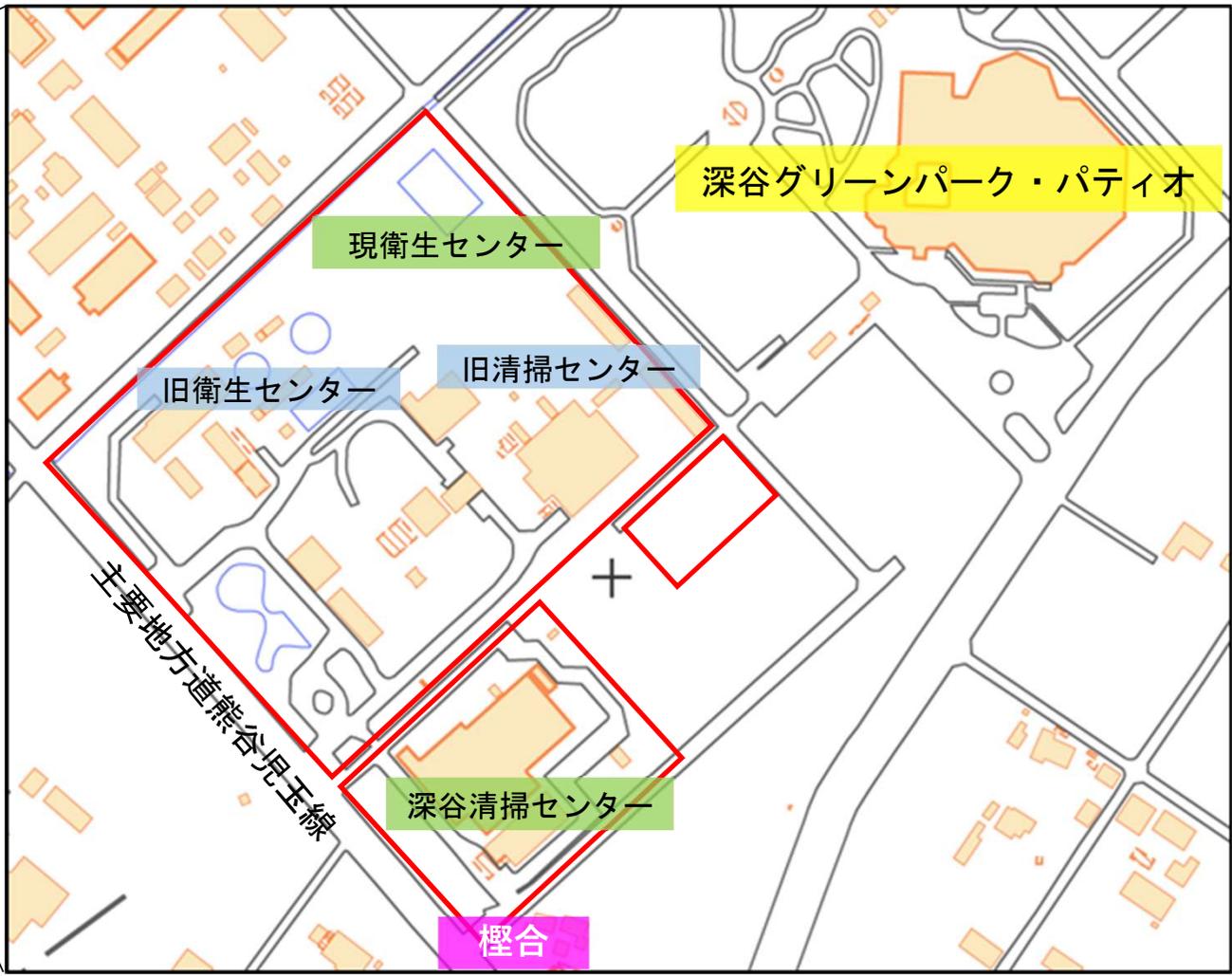
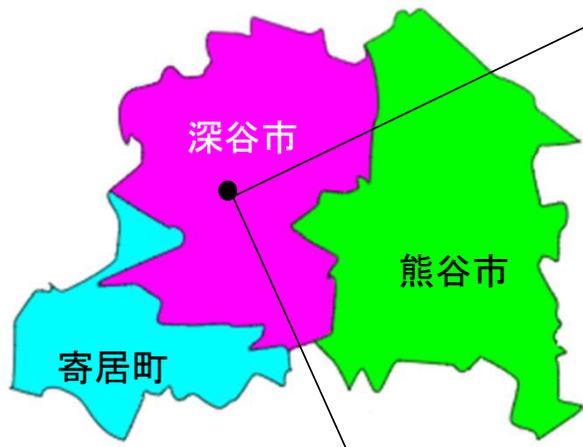
根本的な条件の検証及び現に熊谷衛生センターが稼働していることから、液状化危険度に応じた対策及び国土交通省浸水シミュレーション結果を想定した対策を講じることにより別府（現熊谷衛生センター敷地他）は根本的な条件を満たす。

別府（現熊谷衛生センター敷地他）は発展的な条件を満たすことが期待できる。



それぞれの項目について検証した結果、別府（現熊谷衛生センター敷地他）は建設可能であると判断できる。

建設候補地の検証（榎合）



赤枠が都市計画上の「都市施設」と位置付けられている範囲（約3.3ha）

根本的な条件

検証項目	検証項目の内容	桎合（現深谷清掃センター隣接地）の状況
土地利用	都市計画、 現況の土地利用	<ul style="list-style-type: none">• 深谷衛生処理場として都市計画決定されている。• 現況は旧ごみ焼却施設、旧し尿処理施設が建っている。

検証結果

検証項目の内容について、旧ごみ焼却施設、旧し尿処理施設の必要範囲の除却により、根本的な条件を満たす。

検証項目	検証項目の内容	榎合（現深谷清掃センター隣接地）の状況
防災	液状化想定、 想定震度、 浸水想定	<ul style="list-style-type: none"> • 深谷市地震ハザードマップにおいて、液状化危険度で4段階中2番目に危険度が低いと評価される区域である。（液状化の可能性があると考えられる区域） • 関東平野北西縁断層帯地震の際、揺れやすさで3段階中2番目に揺れにくいと評価される区域である。 • 深谷市洪水・内水ハザードマップにおいて、浸水が想定されない区域である。

検証結果	検証項目の内容について、液状化危険度に応じた対策を講じることにより、根本的な条件を満たす。
------	---

検証項目	検証項目の内容	榎合（現深谷清掃センター隣接地）の状況
自然環境	保全地区	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県自然環境保全条例に基づく県自然環境保全地域には指定されていない。

検証結果	検証項目の内容について、根本的な条件を満たす。
------	-------------------------

発展的な条件

検証項目	検証項目の内容	樫合（現深谷清掃センター隣接地）の状況
将来計画	将来計画、 地域活性化への貢献	<ul style="list-style-type: none">現に稼働する深谷清掃センターは隣接する深谷グリーンパーク・パティオ（スポーツ・レクリエーション系施設）に温熱供給をしている。新施設においても温熱供給により相乗的な地域活性化への貢献が期待できる。

検証結果

検証項目の内容について、発展的な条件を満たすことが期待できる。

検証項目	検証項目の内容	樫合（現深谷清掃センター隣接地）の状況
関連施設	余熱利用施設の有無	<ul style="list-style-type: none"> 現に稼働する深谷清掃センターは隣接する深谷グリーンパーク・パティオ（スポーツ・レクリエーション系施設）に温熱供給をしている。新施設においても温熱供給により相乗的な地域活性化への貢献が期待できる。

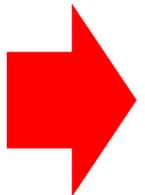
検証結果	検証項目の内容について、発展的な条件を満たすことが期待できる。
------	---------------------------------

検証項目	検証項目の内容	桎合（現深谷清掃センター隣接地）の状況
経済性	<p>インフラ整備費、 幹線道路との近接性 （アクセスのしやすさ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 過去、旧清掃センターが稼働していたことから、インフラ（給水、排水、ガス、通信など）が整っている。 2車線（片側1車線）道路である主要地方道熊谷児玉線に近接しており、幹線道路との近接性が高いため、搬入車両のアクセスがしやすく、収集運搬費などの経済性は高いと考える。

検証結果	<p>検証項目の内容について、発展的な条件を満たすことが期待できる。</p>
------	--

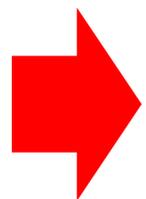
根本的な条件の検証及び過去に旧深谷清掃センターが稼働していたことから、桎合（現深谷清掃センター隣接地）は旧ごみ焼却施設、旧し尿処理施設の必要範囲の除却及び液状化危険度に応じた対策を講じることにより、根本的な条件を満たす。

桎合（現深谷清掃センター隣接地）は発展的な条件を満たすことが期待できる。



それぞれの項目について検証した結果、桎合（現深谷清掃センター隣接地）は建設可能であると判断できる。

組合圏域における持続可能な廃棄物処理体制の構築において、様々な規模及び種類の災害への対応を考えた場合、別府、檜合はそれぞれ災害に対して、別府は地震災害に対して檜合に比べ、より強靱（液状化可能性の低い区域）な地区であり、檜合は豪雨災害に対して別府に比べ、より強靱（浸水が想定されない区域）な地区である。



別府、檜合はそれぞれ、異なる災害に対してより強靱であることから、それぞれの地区に建設した場合、相互に補完し合うことが可能であり、安全・安心かつ安定的な処理が期待できる。

- ・ 行政として意見集約された建設候補地は別府・榎合である。
- ・ 施設数については「2施設体制」が優位であるものと承認されている。



建設候補地事務局案	
別府（現熊谷衛生センター敷地他）	榎合（現深谷清掃センター隣接地）

建設候補地の検証結果を踏まえ、建設可能であり、相互に補完し合える
と考える別府（現熊谷衛生センター敷地他）、榎合（現深谷清掃センター
隣接地）を建設候補地事務局案として提案したい。